

こらぼ大森・地域イベント掲示板

こらぼ de アート 3月15日～17日 こらぼ大森がアートでいっぱい アートでつながる人・地域・こらぼ

- 日時 3月15日(木)、16日(金)、17日(土) 10:00～16:00
- 場所 こらぼ大森 多目的室、軽食コーナー
- 展示 絵画、イラスト、手芸作品、絵手紙、折り紙、写真、書 etc
こらぼ大森ご利用者の皆さんや地域の皆さん、子どもたちの作品を展示します。
- 展示作品募集中です。(応募締め切り2月末日)
- ワークショップ <工作・実験教室> 3月17日(土) 13:30～15:30
身近な道具を使って、楽しい作品を作ってみよう。対象：小学生 定員：20名 参加費：無料
詳しくは、こらぼ大森 HP またはこらぼ de アートの案内チラシをご覧ください。
- お問い合わせ・お申込み
電話 03-5753-6560 Mail : cbc10286@nifty.com (こらぼ大森情報交流室1・担当 森)



餅つき大会

各町会で恒例の餅つき大会が開催されます。

- 大森西二丁目三和会・・・2月6日(火)
 - 大森北六丁目沢田町会・・・2月18日(日)
 - 大森沢田東町会・・・2月25日(日)
 - 大森沢田西町会・・・3月4日(日)
- 詳細は、各町会にご確認ください。



園芸ボランティア募集！

一緒に菜の花を育てませんか？

大森西地区の18色の緑づくり(地域の花)の取り組みは、菜の花とコスモスとなっています。
こらぼ大森園芸ボランティアは、毎週木曜日の午後が主な活動日です。

- お問い合わせ・お申込み
電話：03-5753-6560
Mail : cbc10286@nifty.com
(こらぼ大森情報交流室1・担当 山田)



平成30年度 貸出募集案内 倉庫・ロッカー・メールボックス

こらぼ大森の地域活動を応援します。

- 応募期間：2月1日(木)～3月2日(金)
応募多数の場合は、抽選となります。
- 対象：定期的に「こらぼ大森」を利用している団体、または、「こらぼ大森」で活動予定の団体。
- 募集戸数
倉庫 14区画 / ロッカー 18台 / メールボックス 24台
- 使用期間 2018年4月1日～2019年3月31日
- 利用料：無料 ※倉庫とロッカーは保証金預かりあり
- お問い合わせ・お申込み

電話 03-5753-6560 Mail : cbc10286@nifty.com
(こらぼ大森情報交流室1・担当 藤條)

発 行：こらぼ大森ニュース編集委員会
TEL/FAX：03-5753-6560
E-mail：c b c 10286@nifty.com
URL：http://collabo-ohmori.com/
住 所：大田区大森西 2-16-2
大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ

大森ニュース 第28号

2018年2月1日 発行

- 静かに訪れる春の足音
- 住み慣れた地で紡ぐ高齢者の地域交流活動
- わたしのボランティア・地域活動
- 本：ブックカフェを始めよう！
- 掲示板「こらぼdeアート」「餅つき大会」



静かに訪れる春の足音

暦の上では、春を迎えます。三寒四温。寒さの中にも暖かい日差しを感じる時が徐々に増えてきました。例年こらぼ大森の玄関を彩る菜の花は今年も順調に育ってきました。芽も段々と膨らみ始めています。春の足音が聞こえてきます。

ところで、節分で豆をまく理由ご存知ですか？「魔目(豆・まめ)」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」に通じ、邪気を追い払うからだそうです。痛そうですね。良い子はお面をかぶっていても目に豆をぶつけるのはやめましょう。

Lets' こらほ



大田区には様々な高齢者による地域活動があります。高齢化社会を迎えるにあたり、ますますその役割に注目と期待が集まります。地域特性に合わせた「地域包括ケアシステム」の推進が来年度から本格化する中、ユニークな活動で注目をされる、コミュニティカフェ遊とぴあ（ゆうとぴあ）を取り上げます。

住み慣れた地で紡ぐ高齢者の地域交流活動

コミュニティカフェ遊とぴあ 代表 木村恵子さんのお話より

「コミュニティカフェ遊とぴあ」は、3年前の平成27年から大田区で活動する高齢者を中心とした地域団体です。活動をけん引する代表の木村さんは、障害や高齢福祉の分野で長らく教育、施設運営等に携わってきました。そのつながりがある方々とともに、ワンコインで楽しめる「筆遊び」、「折り紙」、「布あそび」といった文化・創造的活動を通して地域交流をスタートさせました。

その道では長い間経験を積んだベテランのメンバー14名を「活動者」として、企画イベントのコーディネート等も担っています。時には、曜日で活動者と利用者の立場が入れ替わることもあります。そこには、それぞれが持つ特技や持ち味を活かした支えあいを大切にしたいという団体の考えが現れています。

趣味の楽しみごとの活動は、交流の場になるだけではなく、手を動かし、おしゃべりを楽しむ中で、認知症予防につながります。場合によっては、早期発見もできて、相談を通して専門的關係機関に繋がることもあるようです。

現在、大田区内の65歳以上の高齢者は16万人以上となり、超高齢社会は着実に進んでいます。国が推進する「地域包括ケアシステム」では、専門領域のケアとは別に、地域住民の主体的で自助的な交流や健康維持に関する取り組みが奨励されています。

遊とぴあの活動内容は、高齢者のためだけのものでもありません。会員が協力しあい、児童養護施設に雑巾や手作り品を寄贈するといった地域貢献活動も行っています。それを自然と行える雰囲気は遊とぴあのまた魅力の一つのようです。去年の秋には毒蝮三太夫さんのラジオ番組で取り上げられましたが、「遊とぴあは、地域に根ざした“野の花”でありたい」と木村さんはそこでもお話をされたそうです。

2018年より、日常の活動場所が名店街会館に移りました。新天地での活動に注目していきたいと思います。

◇コミュニティカフェ遊とぴあ

連絡先：090-4546-0493（木村）

名店街会館（大田区山王3-4-4）



わたしのボランティア活動・地域活動

うちかわ指圧院 木村洋介さんのお話より

平和島駅近くのするがや通りで指圧院を営む木村洋介さんは、こらほ大森に度々足を運んでくださいます。2階の喫茶店はお気に入りの場所で、こらほ大森夏まつりにも毎年参加しています。木村さんにとって、こらほ大森は地域活動のつながりを感じる大切な場だそうです。木村さんのボランティア活動や地域活動の関わりについてお話を伺いました。

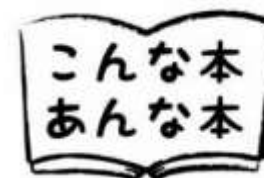
木村さんの地域活動の始まりは、東日本大震災後のボランティア活動がきっかけでした。大森界隈で生まれ育ちましたが、地域とのつながりをより強く感じるようになったのは、そのボランティア活動以後でした。

震災があった年には指圧院を開業して2、3年は経過していましたが、その後お客さんとの距離感にも大きな変化がありました。イベントで顔を合わせた活動仲間がお客さんとして来院するだけではなく、指圧を通じたお客さんとの向き合い方にも変化が生まれました。研鑽の一環で師事する先生のところに通うために指圧院を休むこともありましたが、開院時間を保ち、地元でより多くのお客さんに指圧を施すことに考えの重きを置くように考えも変わりました。

さまざまな地域イベントで、施術仲間と共に指圧体験ブースを出展しています。これからも積極的にボランティア活動・地域活動に関わっていきたくと力強いコメントをいただきました。



▲イベント出展「青空指圧」の様子



ブックカフェを始めよう！

～こらほ大森2階の情報交流室1で貸出し中～

今やカフェはコーヒーを飲むための場所だけではなく、コミュニケーションの場、仕事場、自分の部屋の延長…など訪れる人によって様々な意味を持っています。

この本は、ブックカフェを始めたいと思ったらどうすればよいかを段階を踏んで、開店までの流れを詳しく紹介しています。

そして、ブックカフェ以外の仕事にも役立つ工夫や考え方が載っていて大変興味深い内容です。自分がカフェを始めると仮定して、空想の地に理想のカフェを出店するという楽しみを本の中で経験しませんか。



出版：青弓者
編著：日本ブックカフェ協会